

《原教界》第18期，頁142~150
2007年12月號

原語論壇

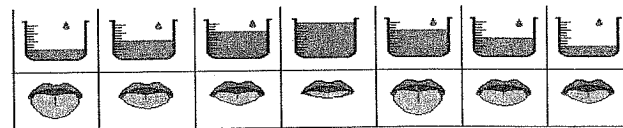
「Aynu=アイヌ」的漢字譯名是「愛努」還是「阿伊努」？

「Aynu = アイヌ」の漢字の訳名は「愛努」か、それとも「阿伊努」か
How to Put "Aynu/Ainu" in Chinese Characters?

黃智慧、佐藤幸雄、二宮一朗、常本照樹
石村明子 翻譯

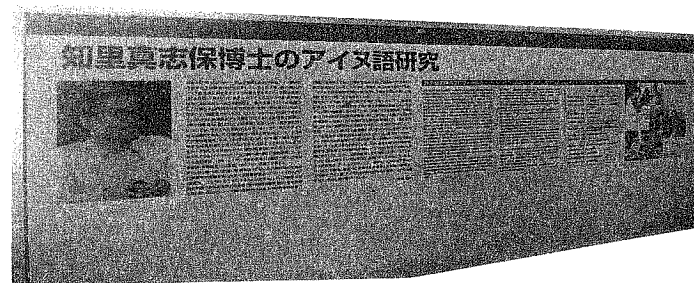
分布在日本北海道的民族「Aynu = アイヌ」，是大家耳熟能詳的民族。口中說著 Aynu 或是アイヌ，也能輕易聽懂，不會有疑義，但是用漢字寫下來，便有相當爭議。由於「アイヌ」的平假名寫成「あいぬ」，所以漢字寫時「愛奴」便是極為自然的寫法（平假名「ぬ」是創自於漢字的「奴」）。但是看多「愛奴」兩字的人，便會覺得不甚妥當，於是就改寫成「愛努」。但是也有直接根據假名的三個音節寫成「阿伊努」的形式。雖然如此，對於不常用漢字去談論「Aynu = アイヌ」的人而言，信筆寫來仍是「愛奴」的，也大有人在。由於使用上沒有規範化，各種譯名也並行流通，互不相礙。

日本の北海道に分布する民族「Aynu = アイヌ」は、説明できるほどよく耳にする民族である。Aynu またはアイヌと口にする場合は、簡単に分かるし、疑問を持つこともないが、漢字で書くときと相当な議論を呼ぶことになる。「アイヌ」は平仮名で書くと「あいぬ」となるため、漢字で「愛奴」と書くのはごく自然な書き方である（平仮名の「ぬ」は漢字の「奴」から作られた）。ところが、「愛奴」という二文字を何度も見ているうちに、どうもふさわしくないと思うようになり、「愛努」と書くことになる。しかし、仮名の三音節に直接基づけば「阿伊努」という形にもなる。そうではあっても普段、漢字を用いて「Aynu = アイヌ」について語る事がなく、筆を取り「愛奴」と書いてしまう人は大勢いる。使用上、規則化されているわけでもないで、いろいろな訳名がお互いに妨げることなく流通している。



政大一行在2007年8月走訪「Aynu = アイヌ」。發現本民族對於「愛奴」的寫法表示抗議，對於「愛努」的寫法則微笑點頭。不過並沒有觸及對於「阿伊努」寫法的態度。政大與北大往來交談無礙寫信無阻也沒有觸及這個「Aynu = アイヌ」的漢字譯名的難題。不過政大對於「Aynu = アイヌ」的正確讀音，究竟是兩音節或是三音節這個根本問題十分執著請益。因此本期有北原次郎太先生執筆的「Ainu 是兩音節，還是三音節？」。

政治大の一行は2007年8月に「Aynu = アイヌ」を訪問した。そして当民族が「愛奴」という書き方に抗議する一方、「愛努」という書き方については笑顔で頷いていることに気が付いた。しかし「阿伊努」という書き方に対してどのような態度を取るのかは特に触れることがなかった。政治大・北大の間の憚りないメールのやり取りでも、「Aynu = アイヌ」の漢字の訳名についての難題に触れることはなかった。しかし、「Aynu = アイヌ」の正確な読みに対して、2音節なのか3音節なのかという根本的な問題については十分こだわりがあり、教えを請うた。その結果、今号の北原次郎太氏による「Ainu は2音節か3音節か」が生まれたのである。



◀ 知里真志保的愛努語研究。

「愛努 vs 阿伊努」の問題發生在10月18日簽約當天的晚宴上。黃智慧教授直接向常本照樹教授請教。這

「愛努 vs 阿伊努」についての問題は、調印式のその日の晩の打ち上げ中に起こった。黄智慧氏がこの問題について常本照樹氏に直接聞いたところ、常本氏はこの

原語論壇

個常本教授從未思考到的問題，使得常本教授返回北海道後立即向北海道ウタリ協會事務局尋求答案，事務局長佐藤幸雄先生給予「使用阿伊努」的答案（10月31日）。不過稍早（10月26日）二宮一朗牧師寄稿件給本刊時特別提醒「Aynu」的漢字譯名是「愛努」，不是「愛奴」。可惜他的話沒有提到對「阿伊努」的看法。北海道大學アイヌ中心，也一樣面臨要使用哪一種漢字名稱的抉擇，受到上述這些意見往返討論的影響，現在正審慎考慮究竟要用「愛努」或是「阿伊努」。

以下分別將黃智慧、佐藤幸雄、二宮一朗、常本照樹等四人意見列出。

1. 黃智慧教授 論「Aynu 民族」漢字譯名的 原則性問題

2007-10-18

一、先用原則。中國大陸在90年代初期，已經廣泛使用「阿伊努族」漢字譯名。

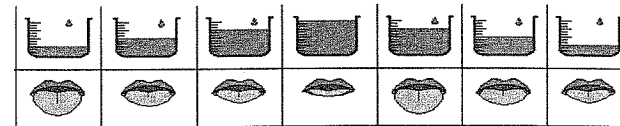
件についてはかつて考えたことがなかったということで、北海道に帰った後、即刻北海道ウタリ協會事務局に問い合わせた。そして事務局長の佐藤幸雄氏より「阿伊努を使用します」というご回答をいただいた（10月31日）。しかしそれより少し前（10月26日）、二宮一朗氏より本誌宛に原稿をいただいた際、「Aynu」の漢字の訳名は「愛奴」ではなく、「愛努」を使うようにと、特別にアドバイスをいただいた。ただしその時には残念なことに「阿伊努」に対する考えについては触れられていなかった。北海道大学アイヌ・先住民研究センターでも同様に、どちらの漢字の名称を使うか決断に迫られており、これらの意見のやり取りの影響を受けつつ、慎重に「愛努」を使うべきか「阿伊努」を使うべきかを考えている。

以下、それぞれ黄智慧、佐藤幸雄、二宮一朗、常本照樹各氏4名の意見を挙げる。

1. 黄智慧氏による 「アイヌ民族」の訳語の原則に関して

2007-10-18

一、先行の原則。中国大陆では90年代初期から「阿伊努族」という訳名を使用している。目下、台湾では一致



台灣方面尚未有一致的譯名。（1993年筆者在報紙撰寫介紹該族的文章，算是台灣學界之先聲。當時台灣有百科全書譯為「愛奴」，我深覺不妥，並體認到此問題之重大，當年初意迴避漢字，使用羅馬拼音 aynu 族。）

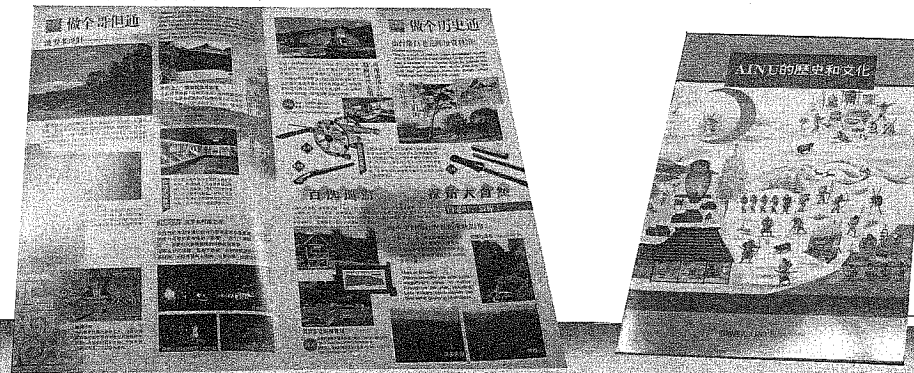
二、中性詞彙。關於部族的漢字中文的譯名，為了避免給予強烈先入為主的意象，通常使用中性名詞。但是為了區辨男女，卻又故意給予不同的譯法。例如：同為 /ai/ 的音，男性傾向譯為「艾」，女性則譯「愛」。/ii/ 的音，男性為「力」、「利」、「歷」。女性則為「麗」、「莉」。所以，不論是阿伊努、愛奴、愛努、艾努等詞，都有其附帶的漢字意象。

三、語言學原則。aynu 是2音節抑或3音節？aynu 的語源是2音節，然而，日文的公式稱呼、法律用語アイヌ為3

した訳語がない。（筆者が1993年、台湾の新聞でアイヌ民族を紹介し、台湾の学界における嚆矢ともいえる文章を書いたが、当時台湾の百科事典では「愛奴」という訳語を使っており、この訳語を使用するのは不適切な上、事の重大さを感じ、漢字を避け、ローマ字で aynu 族と表記した。）

二、中性的な語彙。中国語の訳名は、先入観に囚われるような強いイメージに左右されるのを避けるため、通常、中性的な名詞を使用する。ただし男女を区別するのに、意識的に違う訳し方をすることもある。例えば同じ /ai/ の音を、男性的なものは「艾」と訳し、女性的なものは「愛」と訳す。また、/ii/ の音は、男性の場合「力」、「利」、「歴」、女性は「麗」、「莉」とする。よって阿伊努、愛奴、愛努、艾努などの語は、どれも漢字によるイメージを持つ。

三、言語学原則。aynu は2音節か3音節か？aynu の語源は2音節であるが、日本語の公式呼称や法律用語は片仮名で3音節となる。ゆえに2音節、3音節とも理に



白老愛努博物館
有關民族簡介的
出版品—中國語
簡體字版和繁體
字版。

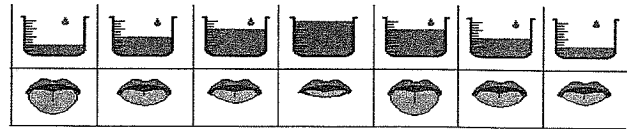
原語論壇

音節。故2音節或3音節都有道理。但其實語音之正確性往往不容易反映在翻譯上。例如：2007年出甫獲認定Sakizaya族，其漢字譯名是使用「撒奇萊雅」。因為「za」的音在漢字沒有對應的字，故使用「萊」。「太魯閣」族也是一樣，若以語言學上正確音應該是Truku，漢字「德路固」族更接近原音，可是已經約定成俗，大家習慣了「太魯閣」，所以後來還是用「太魯閣」，通常先用原則會優於語言學原則。

四、選擇權在於該民族本身，也應該還給該民族自身。例如：「雅美族」的譯名是由19世紀末鳥居龍藏從Yamen（我們）之音轉為「ヤミ」（Yami），而再由「ヤミ」所譯成「雅美」。90年代後半興起的正名運動中，蘭嶼年青人選擇了「達悟」為中譯名，但並未獲得族人一致認同，所以現在仍是二者並用的狀態。因此，民族之「漢字」譯名的原則性問題，除了語言學問題之外，更牽涉到政治以及代表性的問題。

かなう。ただし音声の正確性を翻訳に反映することは難しい。例えば、2007年に認定されたばかりのSakizaya族の漢字の訳名は「撒奇萊雅」であるが、漢字に対応する「za」の音がないため「萊」を使用している。同様に「太魯閣」族も、言語学的に正確な音はTrukuであり、「徳路固」という漢字のほうが元の音により近いが、「太魯閣」が長期間広く慣習的に使われているため、「太魯閣」を使用することになったのであり、通常、使用前例の原則が言語学の原則に勝る。

四、選擇權は該当民族自身にあり、また、該当民族自身に返すべきである。例えば「雅美族」の訳名は、19世紀末に鳥居龍藏がヤメン（我々）という音をヤミという音に聞こえ、戦後ヤミから「雅美」と漢字訳したものである。90年代後半に起こった正名運動の際、蘭嶼の青年は「達悟」という中国語名を選んだが、当民族の人々の認識がまだ一致していないため、現在は両者を併用している状態にある。よって、民族の「漢字」の訳名についての原則的な問題は、言語学上の問題の他、政治性や代表性の問題にも及んでくる。



五、若以「愛努」及「阿伊努」這二個譯名來比較的話，可以列表如下：

	愛努	阿伊努
先用原則		✓
中性詞彙		✓
語言學原則	✓	✓
選擇權		✓

2. 北海道ウタリ協會事務局長 佐藤幸雄認為

「Aynu」的漢字譯名是「阿伊努」

2007-10-31

透過常本教授的詢問，北海道Utari協會事務局長的回答：

此回函雖不能說是公式性答覆，但是可以代表北海道Utari協會（事務局）對漢字譯名的答覆為—「阿伊努」。

我們做此答覆，乃重視先行案例（在中國廣泛使用），並且避免附加特定意象（implication）的考量結果。此外，Utari協會曾經四度派遣過訪中團，當

五、「愛努」與「阿伊努」的訳語の比較

	愛努	阿伊努
先行の原則		○
中性的な語彙		○
言語学の原則	○	○
選擇權		○

2. 北海道ウタリ協會事務局長・佐藤幸雄氏の見解

「Aynu」の漢字の訳名は「阿伊努」

2007-10-31

常本教授を通しての質問に対する北海道ウタリ協會事務局長の回答

公式な回答とまでは言えませんが、北海道ウタリ協會（事務局）回答は「阿伊努」とします。

回答にあたっては、先行例（中国に流布）、及びインプリケーション付加をさけることを重視しました。また、ウタリ協會が4度行った訪中団でも「阿伊努」を使用しています。北海道庁・北海道観光連盟は「愛努」を

原語論壇

時也都使用「阿伊努」族。北海道廳、北海道觀光聯盟似乎常用「愛努」，但這個用語只不過是翻譯業者所下的判斷，並不是經過北海道政府或聯盟檢討的結論。

雖然 aynu 的音節是兩音節，但是狹義地以發音的近似性為優先的考量來看的结果，「阿伊努」、「愛努」之發音，與片假名アイヌ發音的聽覺比較，在目前是不可能的；由這些因素所做的綜合性判斷。我認為似乎沒有支持「愛努」譯名之積極性與實質性的理由。

以上為答覆。

北海道 Utari 協會事務局長 佐藤幸雄

3. 二宮一朗牧師提醒本刊

「Aynu」的漢字譯名是「愛努」

2007-10-26

二宮一朗牧師寄原稿給中心時，提醒編輯室譯詞的問題，內容如下。

使用することが多いようですが、それは翻訳業者が判断したものにすぎず、道や連盟として特に検討した結果ではありません。

音節は2音節(aynu)ですが、一義的に発生音の近似性が優先されるべきこと(「阿伊努」、「愛努」の発生音とアイヌ音との聞き比べは現時点で不可能)などから総合判断しました。「愛努」を支持すべき積極的・実質的理由はないように思います。

以上、回答といたします。

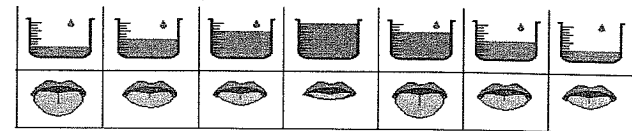
北海道ウタリ協会事務局長 佐藤幸雄

3. 二宮一朗氏から本誌へのアドバイス

「Aynu」の漢字の訳名は「愛努」

2007-10-26

二宮一朗氏より本誌宛に原稿をいただいた際編集室宛に訳語の問題についてのアドバイスをいただいた。



内容は次の通りである。

なお、訳語の問題ですが、

90年代にアイヌ民族博物館の一行をお迎えする際に、博物館の方に検討していただき、「愛奴」でなく「愛努」という文字の使用を行政院原住民委員会でしたきました。それ以来、この文字を使っていますが、なかなか浸透しません。貴大学が「愛努」という語をお使いいただき、驚いています。感謝致します。二宮がお礼を申し上げていたことをセンター担当者や責任者にお伝えくださいませ。

「北海道ウタリ協会」については、正式な場でも「北海道愛努同胞協会」という中文名を使用しています。貴大学でも、この名称をお使いいただければ、さいわいです。そうでなければ、「(社団法人)北海道 Utari 協会」と存じます。

另外，有關譯詞問題：
在1990年代台灣迎接愛努民族博物館的人員時，先請博物館的人考慮後，再請行政院原民會不要使用「愛奴」，而使用「愛努」的文字。之後我一直使用此文字，但在台灣很難推廣。我很驚訝看到貴大學使用「愛努」乙詞。非常感謝！請特地轉告中心負責人及承辦人：二宮感謝他們！

關於「北海道ウタリ協会」，在正式場合使用的中文名稱也是「北海道愛努同胞協會」。若貴大學也使用此名稱，則感甚幸。不然我認為使用「(社団法人)北海道 Utari 協会」比較妥當。



原語論壇

4. 北海道大學アイヌ・先住民 研究中心審慎考慮

究竟要用「愛努」或是「阿伊努」

2007-11-6

在北海道大學本部發行的新聞報中文版，這次要介紹アイヌ・先住民研究中心，發行單位詢問本中心。根據本部的承辦人，他也查過在網路上的情況，結果「阿伊努」有「愛努」的三倍左右。我也查過 Wikipedia，他們也使用「阿伊努」。

雖然北海道廳跟北海道觀光聯盟使用「愛努」，但這是完全由翻譯業者決定的，我不知道北海道廳和北海道觀光聯盟有沒有檢討過使用哪一個標記。

說實話，本中心在準備八月的台灣・原住民法 Workshop 的資料時，也使用「愛努」譯名，但也沒有特別的理由使用此譯名。這次北海道 Utari 協會表示其看法，本中心以後原則上也會使用「阿伊努」，但如果在台灣（跟中國不同？）幾乎使用「愛努」的話，也許要重新查詢為何使用「愛努」，再來檢討。

本人想藉此機會，衷心請教哪個標記是適當的。

4. 北海道大学アイヌ・先住民研究センター では

「愛努」を使うか「阿伊努」を使うか慎重に
考慮

2007-11-6

北海道大学本部が発行しているニュースレターの中国語版でアイヌ・先住民研究センターの紹介をするために、先日、「アイヌ」の中国語表記について当センターに問い合わせがありました。本部の担当者によれば、ネットで検索したところ、阿伊努が愛努の3倍くらいあったそうです。わたしもウィキペディアを調べましたが、阿伊努になっていますね。

北海道庁や北海道観光連盟では愛努を使っているようですが、これは翻訳業者に丸投げしている結果だそうで、道庁や連盟自身で実質的に検討したことはないようです。

実は、当センターも、8月の台湾・原住民族ワークショップ用の資料では愛努を使いましたが、これも特に理由があつてのことではありません。今回、北海道ウタリ協会の意向が示されたので、当センターとしては、これからは原則として阿伊努を用いることにしようと思っていますが、もし台湾では（中国と違って？）愛努がほとんどだとすれば、その理由を調べた上で、再度検討しなければならないかもしれません。

この機会に、是非、いずれの表記が適正であるのか、御教示をいただきたいと思います。